

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム第2回幹事会議事メモ

- 1 日時：平成30年6月29日(金)10時00分～11時40分
- 2 場所：防災科学技術研究所 東京会議室
(東京都港区西新橋2丁目3番1号 マークライト虎ノ門ビル6階602号室 銀座線「虎ノ門」駅徒歩5分)
- 3 出席者：林(会長)、甘利(副会長)、遠藤
陪席者：阿部、中島、前山(防災科学技術研究所)、平岡(セコム)、石濱、松原(筑波大学) (敬称略)

4 議事

(1) 韓国NDMI・台湾NCDRへの説明及び台湾NCDRの入会申込について

遠藤委員より、資料1及び資料2に基づき、次の報告があった。

- ・ 6月19日に開催された防災科学技術研究所の国際ワークショップにおいて、次の機関にコンソーシアムに関する説明を行った。
 - ✓ National Disaster Management Research Institute (NDMI、韓国)
 - ✓ National Science and Technology Center for Disaster Reduction (NCDR、台湾)
- ・ NCDRから入会申込書(資料2)を受理した。

なお、NCDRの入会については、第3回総会に諮り、承認後にNCDRに連絡することとなった。

(2) 規約改正について

遠藤委員より、資料3,4に基づき、

- ・ ①総会の名称を運営委員会とする
- ・ ②運営委員会で代理出席を可能とする
- ・ ③別表第1において一部機関名称に法人種別の記載が無かったものを修正する

旨の提案があり、②③については承認されたが、①について意見交換の結果、林会長、甘利副会長より、次のように改正してはどうかとの提案があり、事務局で規約の改正案を作成し、後日幹事会メンバーにメールで承認を取った後、第3回総会に諮ることとなった。

- ・ 総会と運営委員会をそれぞれ設け、総会は最高意思決定機関とし、構成員は参画機関とし、参加者は参画機関関係者、協働大学院教員・非常勤講師とする。総会では、年に一度、活動報告、年度計画報告等を行う。

(3) 客員教員の配置について

遠藤委員より、リスク・レジリエンス工学学位プログラムの開設に向けて、筑波大学において客員教授または客員准教授を 11 枠配置することが承認されたこと、及び学位プログラム開設後は客員の称号が協働大学院に移行されることの報告があった。

(4) 客員教員の推薦に関する総会から幹事会への付託事項について

遠藤委員より、第 1 回総会にて承認された総会から幹事会への付託事項（資料 5）について、客員教員の推薦も含まれていることの確認があり、意見交換の結果、含まれている旨確認された。

(5) シンポジウムについて

遠藤委員より、資料 6 に基づき、シンポジウムの概要案について説明があった。意見交換の結果、次のとおり了承された。また、本件については、第 3 回総会（運営委員会）に諮ることとなった。

日時・場所

幹事会 : 平成 30 年 12 月 14 日(金)13:00-14:00 (嘉ノ雅 茗溪館 3 階「あけぼの」)

シンポジウム : 同日 14:00-17:30 (同 2 階「茗溪」)

情報交換会 : 同日 18:00-19:30 (同 1 階カフェスペース)

目的

コンソーシアムが目指す活動や機関の研究活動を内外に紹介する。

テーマ

- ・ 自然災害、事故・事件、サイバーの三つのリスクを統合的に考える社会にしないと、レジリエントにはならない。
- ・ レジリエンスという言葉はまだ社会に浸透していないため、敷衍する言葉があった方がよい。
- ・ コンソーシアムをアピールするため、タイトル又はサブタイトルにコンソーシアム名を入れるべき。
- ・ タイトルを、「安全・安心を創る～レジリエンス研究教育推進コンソーシアムが目指すもの～」、「リスクに最適に対応できる社会」などとするのはどうか。

タイムスケジュール

進行：遠藤

1. 挨拶（林会長）（5 分）

2. 講演（自然災害）（林会長）（25 分）
3. 講演（組織内不正・事故抑制）（甘利副会長）（25 分）
4. 講演（サイバーセキュリティ）（筑波大学）（25 分）
- 【コーヒーブレイク】（15 分）
5. パネルディスカッション
 - 5.1 コンソーシアムの役割・社会への貢献（筑波大学）（10 分）
 - 5.2 参画機関によるパネルディスカッション（45 分）（モデレーター：清水副会長）

広報

- ・ 学会に働きかけて、広告を入れる。
- ・ 各参画機関を通じて、産業関係のメディアに流す。
- ・ 8 月中旬にはポスターを作成したい。

(6) 研究プロジェクトについて

遠藤委員より、コンソーシアムを母体としたレジリエンスの研究について、競争的資金に応募してはどうかとの提案があった。また、林会長より、科学研究費の新学術領域研究へ応募し、防災科学技術研究所が代表となっても良いとの提案があり、意見交換の結果、本件については、第 3 回総会（運営委員会）に諮ることとなった。

(7) その他

- ・ 甘利副会長より事務局へ、コンソーシアムウェブサイトについて、シンポジウムの広報に間に合うように、参画機関ロゴの使用について照会を進めるよう依頼があった。
- ・ 林会長より、コンソーシアムの内部向けサイトについて、次のような提案があり、検討することとなった。
 - ✓ 上部に「新着情報」「運営委員会」「幹事会」等のタブを設け、「新着情報」タブを参照し、その他のタブはアーカイブとして利用できるようにする。

以上